

おとな字 トレーニング

講師
小高桃果さん



風の盆 (写真/越中八尾観光協会)

〈テーマ〉

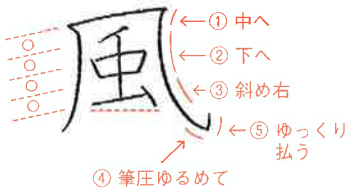
風の地の盆おどり

ひらがなは小さめに。「と」は更に小さめに書きましょう。

なぞって書いてみましょう。

風の地の盆おどり

！ワンポイントアドバイス



風の中の虫は、爬虫類、つまり竜を意味しています。「かぜがまえ」の中の空間を均等に、虫が小さくならないように、どっしり書きましょう。2筆目は形の取りにくい画です。1・2・3・・・と、リズムをとりながら、ゆっくり送ってみてください。虫の6・7筆目は上図のように下部を水平に揃えると安定します。

小高 桃果 (おだか・とうか)

硬筆書道の先駆者である三上秋果の元で長年にわたり研さん。2006年、日本ペン習字研究会理事。2013年「4週間で美しく書ける！ボールペンおとな字練習帳」(日本文芸社)を上梓。著作多数。よみうりカルチャー大森講師。

二十十日を迎えるころ、越中八尾おわら風の盆は、闇の中でぼうっと燈もる明りのもと、胡弓と三味線の音が始まります。音色はおどり手を誘い、祭りは風の神と共に酔いしれるような、幻想的な夜へと変わります。神と共有する特別なひととき——その感動を筆に込めましょう。特別な時間とは、神と時間を共有することなのかもしれませんね。